
2528. マニフェスト情報登録

業務コード	業務名
MFF	マニフェスト情報登録呼出し
MFF01	マニフェスト情報登録

1. 業務概要

「搭載便割当情報登録（FLI）」業務等において便割当てされた貨物についてマニフェスト作成及び出力を行う。

本業務におけるマニフェスト仕様は以下のとおりである。

表1 マニフェスト仕様

	マニフェスト仕様	概要	出力条件
1	ULD単位マニフェスト 「U」	取卸地毎に1ULD収容貨物を1ページ毎に出力する。最後にバラ貨物を有償無償別に出力する	「フライトスケジュール登録（FSA）」業務等により登録された便単位マニフェスト仕様より判定する
2	取卸地単位マニフェスト 「A」	取卸地毎に同一取卸地のすべてのULD収容貨物を連続して出力する。バラ貨物は有償無償の区別をせずに出力する	
3	GENERALマニフェスト 「G」	取卸地毎に同一取卸地のすべてのAWBまたはMAWBのみを有償無償別に連続して出力する	
4	トランジットマニフェスト 「T」	取卸地と異なる仕向地のAWBまたはMAWBを有償無償別に出力する	本業務により入力された便単位マニフェスト仕様により判定する
5	取卸地・仕向地同一マニフェスト 「E」	取卸地と仕向地が同一のAWBまたはMAWBを有償無償別に出力する	
6	TACM	1AWB毎に1マニフェストを出力する	前述マニフェストについてTACM（後述の重量編集処理参照）と判定された場合、前述マニフェストとともに出力する

(1) 「マニフェスト情報登録呼出し（MFF）」業務の場合

入力された便名、マニフェスト仕様より、該当する便情報、輸出貨物情報またはULD情報を呼び出す。

(2) 「マニフェスト情報登録（MFF01）」業務の場合

呼び出された情報より、品名・重量等の変更入力を行った後、マニフェストの登録及び作成を行う。

2. 入力者

航空会社

3. 制限事項

- ① 1業務で入力可能なAWB件数及びULD件数は最大20件とする。
- ② 1搭載便に対して作成できるマニフェストは最大999ページとする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

- (2) 入力項目チェック
 - (A) 単項目チェック
 - 「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。
 - (B) 項目間関連チェック
 - 「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。
- (3) 輸出便情報DBチェック
 - ①入力された搭載便名に対応する輸出便情報が輸出便情報DBに存在すること。
 - ②搭載完了登録されていないこと。
 - ③マニフェスト作成要（FSA業務等で登録されたもの）の旨が登録されていること。
 - ④入力された搭載便名に対応する輸出便情報に登録されている航空会社と同一であること。
 - ⑤入力された取卸地と同一の取卸地が登録されていること。
- (4) フライトDBチェック
 - ①入力された搭載便名が登録されていること。
 - ②欠航便として登録されていないこと。
 - ③マニフェスト作成要の旨が登録されていること。
- (5) ULD情報DBチェック
 - マニフェスト仕様が「U」（ULD単位マニフェスト）または「A」（取卸地単位マニフェスト）の場合に、以下のチェックを行う。
 - ①入力されたULD番号に対するULD情報がULD情報DBに存在すること。
 - ②入力された搭載便名、積込港及び取卸地がULD情報に登録されていること。
 - ③入力者が管理する保税蔵置場に蔵置中または運送中であること。
- (6) 輸出貨物情報DBチェック
 - 処理識別がスペースかつ貨物識別が「U」（ULD）以外の場合は、以下のチェックを行う。
 - (A) AWB番号に対する輸出貨物情報が輸出貨物情報DBに存在すること。
 - (B) AWBまたはMAWBであること。
 - (C) 手作業移行済でないこと。
 - (D) 入力された搭載便に対して、搭載完了登録されていないこと。
 - (E) 入力された搭載便名に対するマニフェストが作成済でないこと。
 - (F) 以下に該当する場合は、AWBまたはMAWB番号単位に処理識別に「*」（処理対象外）を出力し、マニフェストの作成対象外とする。（ただし、「F」（強制入力表示）を入力することで強制的にマニフェストの作成は可能）
 - ①混載仕立情報の登録及び終了の入力がなされていないMAWBである。
 - ②入力者が管理する保税蔵置場に、搭載便の割当個数（マニフェスト作成の個数）分蔵置されていない。
 - ③差止め貨物である。

- (G) 入力者が管理する保税蔵置場に蔵置されている貨物で未通関貨物の場合は、「処理識別に「N」（未通関貨物）を出力し、マニフェストの作成対象外とする。（ただし、「F」（強制入力表示）を入力することで、強制的にマニフェストの作成は可能）

5. 処理内容

(1) MFF業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) AWB及びULD情報抽出処理

後述のマニフェスト仕様に従い、輸出便情報DB及びULD情報DBより、AWB及びULD情報を抽出する。（AWB番号は下1桁でソートし出力する。）

(a) マニフェスト仕様を入力しなかった場合

FSA業務等により登録されているマニフェスト仕様に従い、入力された便名単位にAWB及びULD情報を抽出する。

登録されているマニフェスト仕様

「U」・・・ULD単位マニフェスト

「A」・・・取卸地単位マニフェスト

「G」・・・GENERALマニフェスト

(b) マニフェスト仕様を入力した場合

以下の入力されたマニフェスト仕様に従い、入力された便名単位にAWB及びULD情報を抽出する。

入力可能なマニフェスト仕様

「T」・・・トランジットマニフェスト

「E」・・・取卸地・仕向地同一マニフェスト

(C) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(D) 注意喚起メッセージ出力処理

①抽出条件に対する対象データが残存する場合は、その旨を注意喚起メッセージとして出力する。

②登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

(2) MFF01業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) マニフェストページ番号の払出し処理

入力された搭載便名に対応する輸出便情報より、作成するマニフェストページ番号を払い出す。

(C) T A C M処理

マニフェスト作成時、以下の条件をすべて満たした貨物について、T A C Mを作成する。

なお、T A C Mは1 A W B番号につき1 マニフェストページ番号を出力する。

(a) フライトスケジュール情報に登録されている取卸地マニフェスト仕様が、T A C M指定の場合

(b) 搭載便の取卸地と貨物の仕向地が異なると判定された場合

ただし、以下の例のように、システムにあらかじめ登録されている情報により、同一の都市と判定された場合は除く。

表2 搭載便の取卸地と貨物の仕向地

	搭載便の取卸地	貨物の仕向地
(例)	J F K	N Y C

(D) 重量編集処理

フライトスケジュール情報に登録されている取卸地マニフェスト仕様（表3参照）により処理を行う。

表3 取卸地マニフェスト仕様

取卸地マニフェスト仕様コード		編集形式
T A C M	T A C M以外	
T	スペース	重量単位 キログラム（整数値：小数点以下第1位を四捨五入） 重量が1キログラム未満は1キログラムとする
A	1	重量単位 ポンド（整数値：小数点以下第1位を四捨五入）
B	2	重量単位 キログラム（小数点以下第1位まで出力） （例）1 2 3. 5
C	3	重量単位 ポンド（小数点以下第1位まで出力：小数点以下第2位を四捨五入）
Y	*	重量単位 キログラム（整数値：小数点以下第1位を四捨五入） 社用品マニフェストを作成

(E) U L D単位マニフェスト作成処理

①フライトスケジュール情報に登録されている取卸地順に、1 U L D単位にマニフェストを作成する。

なお、マニフェストには当該U L Dに収容されているA W BまたはM A W Bも出力する。

②①の処理が終了した後に、輸出便情報にバラ貨物が存在する場合、有償・無償別にバラ貨物の情報の抽出処理を行う。

(F) 取卸地マニフェスト作成処理

①フライトスケジュール情報に登録されている取卸地順に、1 取卸地単位にマニフェストを作成する。

なお、マニフェストには複数U L D及びU L Dに収容されているA W BまたはM A W Bを出力する。

②①の処理が終了した後に、輸出便情報にバラ貨物が存在する場合、バラ貨物の情報を抽出し再度バラ貨物についてのマニフェストを作成する。（有償・無償別の出力は行わない）

(G) GENERALマニフェスト作成処理

フライトスケジュール情報に登録されている取卸地順に、1取卸地単位にマニフェストを作成する。
なお、マニフェストにはAWBまたはMAWBを有償・無償別に出力する。(ULDについては出力対象外とする。)

(H) トランジットマニフェスト作成処理

入力された取卸地単位にマニフェストを作成する。

なお、マニフェストには入力された取卸地と仕向地が異なるAWBまたはMAWBを有償・無償別に出力する。(ULDについては出力対象外とする。)

(I) 取卸地・仕向地同一マニフェスト作成処理

入力された取卸地単位にマニフェストを作成する。

なおマニフェストには入力された取卸地と仕向地が等しいAWBまたはMAWBを有償・無償別に出力する。(ULDについては出力対象外とする。)

(J) 輸出便情報DB処理

①マニフェストページ番号を登録する。

②マニフェスト作成済のAWB件数を加算する。

③ULD単位または取卸地単位マニフェスト作成により、ULD単位でマニフェストが作成された場合は、そのULDにマニフェスト作成済の旨を登録する。

(K) 輸出貨物情報DB処理

①搭載便単位にマニフェストページ番号を登録する。

②搭載便単位にマニフェストがすべて(ULD収容貨物及びバラ貨物)作成済の場合は、マニフェスト作成済の旨を登録する。

(L) マニフェストDB処理

(a) マニフェスト仕様の登録

マニフェスト番号単位にマニフェスト仕様を登録する。

(b) 取卸地マニフェスト仕様の登録

FSA業務等で登録されている取卸地マニフェスト仕様を登録する。(表3参照)

(c) 以下の項目を登録する。

①航空会社名

②取卸地

③仕向地(TACMのみ登録)

④貨物識別

⑤AWBまたはULD番号

⑥個数、品名及び重量等

(M) ULD情報DB処理

以下の条件に合致したとき、ULD情報DBにマニフェスト作成済の旨を登録する。

①マニフェスト仕様が「U」(ULD単位マニフェスト)または「A」(取卸地単位マニフェスト)であること。

②当該ULDに積み付けられているAWBまたはMAWBすべてに、マニフェストが作成されていること。

(N) AWB及びULD番号抽出処理

抽出対象となるAWB及びULD番号が輸出便情報DBに残存している場合は、前述のAWB及びULD番号抽出処理を再度行う。

(O) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(P) 注意喚起メッセージ出力処理

- ①抽出条件に対する対象データが残存する場合は、その旨を注意喚起メッセージとして出力する。
- ②登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

6. 出力情報

(1) M F F 業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
マニフェスト情報登録 呼出し結果情報	なし	入力者

(2) M F F O 1 業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
マニフェスト情報登録 呼出し結果情報	輸出貨物情報及びULD情報の抽出処理が行われた後も、処理データが残存する場合	入力者
ULD単位マニフェスト情報	出力指定がスペース（帳票出力する）のとき、便単位マニフェスト仕様が「U」（ULD単位）の場合	入力者
取卸地単位マニフェスト情報	出力指定がスペース（帳票出力する）のとき、便単位マニフェスト仕様が「A」（取卸地単位）の場合	入力者
GENERALマニフェスト情報	出力指定がスペース（帳票出力する）のとき、便単位マニフェスト仕様が「G」（GENERAL）の場合	入力者
トランジットマニフェスト情報	出力指定がスペース（帳票出力する）のとき、便単位マニフェスト仕様が「T」（トランジット）の場合	入力者
取卸地・仕向地同一マニフェスト情報	出力指定がスペース（帳票出力する）のとき、便単位マニフェスト仕様が「E」（取卸地・仕向地同一）の場合	入力者
TACM情報	TACM指定のマニフェスト仕様がかつ搭載便の取卸地と貨物の仕向地が異なる場合	入力者
NILマニフェスト情報	出力対象となるAWBが1件も存在しなかった場合	入力者